

## 議事録

会議名	令和6年度 第6回運営推進会議																								
開催日	2025/3/19																								
開催時間	9:30～11:00																								
開催場所	2階 地域交流室																								
出席者																									
運営推進委員	木村 厚様 (榎原学区社会福祉協議会 会長) 棚橋 和代様 (榎原学区民生児童委員協議会 会長) 中谷 美帆様 (西京区社会福祉協議会 地域あんしん支援員)																								
利用者代表	A様 (小規模多機能かたぎはら)																								
近隣事業所	阪部 珠乃様 (グループホームやすらぎ管理者) 大橋 るみ子様 (グループホームしらかば)																								
職員	柿迫 稔夫 (小規模多機能かたぎはら・グループホームかたぎはら施設長) 岩崎 由香里 (小規模多機能かたぎはら・グループホームかたぎはら副施設長) 山口 由美 (かたぎはらケアプランセンター管理者 ) 江崎 文章 (小規模多機能かたぎはら主任ケアワーカー )																								
議題																									
利用状況報告	利用状況報告 R7.2月末現在 【小規模多機能かたぎはら】 1月実績 登録25名 実利用25名 短期入所1名 12日間																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>介護度</th> <th>申請中</th> <th>支援2</th> <th>介護1</th> <th>介護2</th> <th>介護3</th> <th>介護4</th> <th>介護5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>5名</td> <td>6名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>	介護度	申請中	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	男性	0名	0名	1名	1名	3名	0名	1名	女性	2名	1名	5名	6名	2名	3名	0名
介護度	申請中	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5																		
男性	0名	0名	1名	1名	3名	0名	1名																		
女性	2名	1名	5名	6名	2名	3名	0名																		
	利用回数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">訪問 703回</td> <td style="width: 33%;">通い:延べ 328回</td> <td style="width: 33%;">泊り:延べ 59回</td> </tr> </table>	訪問 703回	通い:延べ 328回	泊り:延べ 59回																					
訪問 703回	通い:延べ 328回	泊り:延べ 59回																							
	2月実績 登録 24名 実利用24名 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>介護度</th> <th>申請中</th> <th>支援2</th> <th>介護1</th> <th>介護2</th> <th>介護3</th> <th>介護4</th> <th>介護5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>5名</td> <td>7名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>	介護度	申請中	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	男性	0名	0名	1名	1名	3名	0名	1名	女性	0名	1名	5名	7名	3名	2名	0名
介護度	申請中	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5																		
男性	0名	0名	1名	1名	3名	0名	1名																		
女性	0名	1名	5名	7名	3名	2名	0名																		
	利用回数 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">訪問:延べ 611回</td> <td style="width: 33%;">通い:延べ 297回</td> <td style="width: 33%;">泊り:延べ 52回</td> </tr> </table>	訪問:延べ 611回	通い:延べ 297回	泊り:延べ 52回																					
訪問:延べ 611回	通い:延べ 297回	泊り:延べ 52回																							
	連泊者 0名 過少サービス(週4回未満の利用者) なし																								
	【グループホームかたぎはら】 R7.3月1日現在 入居者数 17名(男性1名・女性16名) 2/2 1名入所 2/10 1名退所																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>介護度</th> <th>要支援2</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>0名</td> <td>3名</td> <td>5名</td> <td>6名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男性	0名	0名	1名	0名	0名	0名	女性	0名	3名	5名	6名	1名	1名			
介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																			
男性	0名	0名	1名	0名	0名	0名																			
女性	0名	3名	5名	6名	1名	1名																			

【小規模】

- ① 初詣
- ② 福西児童館てづくり市
- ③ 誕生日会
- ④ 節分
- ⑤ バレンタイン(地域交流)
- ⑥ 親子でたこあげ&焼き芋大会(竹の里小学校)
- ⑦ ひな飾り(地域交流)

【GH】

- ① 誕生日会
- ② 節分
- ③ バレンタイン(地域交流)
- ④ ひな飾り(地域交流)

広報誌等で説明させていただいた。

グループホームに関しては12月の末から新型コロナウイルスが流行し  
居室隔離などが続いたことから1月の活動は難しかった。

・グループホームに申込をされる男性は少ないのですか → 女性の方が  
多い。申込もほとんどが女性である。

・コロナ等の感染症の場合は主治医との関係はどうなっていますか → 基本的な  
協力病院は決まっていますが、主治医は統一されていません。往診が可能だったり  
夜間や休日なども指示がもらえる先生であれば、施設入所後も変更なく利用されて  
います。発熱などで、コロナが疑われる場合も主治医とやりとりをし、その指示に従い  
ながらケアします。

## 【小規模多機能かたぎはら】

	事故	ヒヤリ	苦情
1月	2件	6件	0件
2月	3件	1件	1件

## 【事故】 服薬関連2件 転倒1件 負傷1件 原因不明の内出血1件

1、2月度における事故件数は計5件でした。抜粋し報告します。  
服薬事故における1件は通常利用とは異なる宿泊利用をされた際に薬のセットが誤っておこなわれていたことで、服用してしまった報告です。通常の通い利用では内服薬がないため、職員は前回の利用時からの変更を確認せずにセットしてしまったことが原因です。改善策として宿泊利用時における内服薬の用法と用量を確認し、変更がある際には速やかに薬確認表を更新し周知すること、加えてしっかりと照合してセットするように職員間に説明しています。  
転倒の1件はフロア内にて椅子に座り込み損ね尻もちをつき、その際に舌を噛んだことによる負傷を伴ったケースです。当該の利用者様は当日落ち着きなく多動が続いており混乱が見られていました。上着をお渡しし職員が他所に向いた瞬間に発生しました。転倒直後も引き続き混乱されていました。改善策としてご本人に興奮が見られる際には転倒リスクが増えることを念頭に置き、見守りの強化をすることに加え、持ち場を離れる際には職員間の報告などを密にとって連携の強化をおこなっています。

## 【ヒヤリ】 車両1件 支援漏れ2件 離設1件 物品紛失1件 服薬関連2件

1、2月度におけるヒヤリハット件数は計7件でした。抜粋し報告します。  
物品紛失リスクについては宿泊利用者様の持ち物確認が不十分で、衣類などの紛失事故や苦情にも繋がりがねなかったケースです。夜間帯は普段着のまま就寝されることや、自身が興奮状態に陥った際にはカバンを受け取ることも難しく、持ち物確認が困難であったことが原因です。対策として、ご本人の状態で実施できるか左右されることはあるが、遂行表への記入や記録に残すなど、または上着の持参有無だけでも把握するといった意識をするよう周知しました。  
服薬関連のリスクにつきましては、ショートステイの利用者様の居室の内服カレンダーが外れたことにより内服薬が落下したことで紛失に繋がる恐れがあったケースです。不安定な箇所にはカレンダーが吊るされていたこともあり、職員間で協議して設置場所の変更を検討しました。また、ショート利用終了後は自宅で管理されるため、今回発生したリスクについて家族の方にも説明させていただき服薬管理の事故が発生しないようお伝えしました。

## 【苦情】 1件

1、2月度において苦情報告件数は1件でした。  
利用者様の右腕に発生した内出血についての報告が遅れ、自宅での発生か当施設利用中に発生したのか曖昧な判断であったため家人様に報告が遅れたことにより不快になられ苦情として挙げさせていただきました。家人様は利用者様宅の見守りカメラや、自宅での更衣の際にも確認されており、考えられるのは送迎の時などの車椅子の手すりへの接触といった見落とししやすい場面であり、当該の利用者様に限らずに皮膚状態の異変を感じた際には速やかに報告をおこなうことを他職員へも周知をおこないました。なお、今回の苦情における今後の要望は聞かれなかったが、改めて異変を感じた際には随時連絡させていただくことをお伝えし終結しています。

**【グループホームかたぎはら】**

	事故	ヒヤリ	苦情
1月	5件	1件	0件
2月	15件	1件	0件

**【事故】原因不明の内出血10件 服薬関連4件 転倒・転落6件**

事故報告の半数は原因不明の内出血による報告でした。また、5件は同一の入居者様の報告となっています。抗凝固剤服用の影響もありますが、以前より内出血による報告が続いており、ベッド柵カバーの使用、椅子手すりのクッション保護、アームウォーマー着用などの対策を講じることで減少傾向とはなりましたが、介助方法の見直しについても検討をしていくこととしています。服薬関連の報告について、1件は月1回起床時に服用する内服薬の支援漏れのケース。前日に服薬カレンダーへのセットを担当した職員、夜勤職員の確認によるダブルチェックを行っているが、いずれも服用日である事に気付かず、当日の朝食後に早出職員が服用漏れに気付いたことで発覚しました。服薬カレンダーに起床時薬を服用する日にちを記入し示すことでセット漏れないよう対策を行っています。日付間違いについては下記のヒヤリハット報告以降に起こっていることから、対策が十分に実施されていないことから事故報告として上げています。いずれも服薬支援時の日付や服用時期の確認不足が要因となっていることから、再度職員へ周知・徹底を図っています。

転倒・転落については6件ともに居室内やトイレ内で発生しており、また夜間帯の職員が手薄な時間による発生頻度が高くなっています。内2件の事故については2月に入居された入居者様であり、居室内で床に座っている状態で発見したケースでした。トイレに行こうとしていたということもあり、センサーライトの使用や歩行器に鈴をつけて離床を把握しやすくする対策を行うことで転倒リスク低減に努めています。また、1件については夜間のトイレ誘導時、紙パンツの汚染があったことから居室に取りに行っている際に転倒されたケースとなっており、翌日の受診で右肩骨折の診断を受けています。

**【ヒヤリ】異食リスク1件 服薬関連1件**

異食リスクについては、ティッシュペーパーを口元に運ぼうとされているのに気付いたケース。口元を拭こうとされたなどの可能性も考えられますが、過去にティッシュペーパー以外のものを異食されたことがあることや、普段から何かを食べる動作を繰り返していることもあり、リスク周知のために報告が上がっています。手の届く範囲に口に運びそうなものを置かない対策を講じています。

服薬関連について、服薬支援を行った後に翌日分を服用していたことが発覚したケース。内服内容に間違いはなかったが、日付が違う事で内容が変わる可能性もあり、翌日分をセットする際の工夫や、服薬前の日付確認を行う事を対策として挙げています。

**【苦情】0件**

・原因不明の内出血が多いが→薬のかげんで出来やすい人がいる  
手引き歩行するだけで手の形の内出血が出来てしまったり、その皮膚がめくれてしま

まい  
直接体に触れるケアに難しさがある。(安らぎ阪部様)

・夜間の事故もあるが、夜勤等人員体制はどうなっているのか→22時から  
翌7時30までは1人、それ以外の時間帯は2~4人でケアしている

・月1回の薬はどのようなものか→骨の薬です

委員会活動

身体拘束適正化委員会

虐待防止委員会

3月14日(金)17:45~19:15

「身体拘束・不適切ケア」について研修を行った報告をさせてもらった。

認知症ケアにおける身体拘束の防止、そこにつながる不適切ケアについておさらいとともにワークで学びを深めました。法人内のブロック研修の内容も交え近隣事業所の方にもご参加いただき意見交換しています。

その他

地域交流、内部研修等について別紙で説明させて頂いた(別紙参照)

- 1 福西児童館てづくり市
- 2 高齢福祉三団体協働に向けた専門職研修
- 3 内部研修:唄って踊ってセルフケア
- 4 地域交流:バレンタイン手作りチョコレートイベント
- 5 内部研修:かたぎはらを振り返る
- 6 親子でたこあげ大会&焼き芋大会
- 7 地域交流:ひな祭り
- 8 認知症にやさしい異業種連携協議会取り組み見本市(報告)
- 9 ひなまつり供養(報告)
- 10 内部研修:認知症(身体拘束・不適切ケア)

・焼き芋大会はどこからの依頼だったのか→福西児童館からの依頼  
クリスマス会などの取り組みもいっしょに実施している。

・榎原児童館とのかかわりはないのか→以前声をかけたことがあるが  
人数の非常に多く、また公平性が担保できないと言われ、交流できていない  
・職員の入れかわりはあまりないのか→ 定期的な人事異動はあるが、できるだけ  
かたぎはらは変わらないような配慮がある。馴染みの関係が大事

・Aさんが得意な麻雀が地域との関わりを作っていたが、過去やられていたその集合場所  
で麻雀ができないのか→Aさんの希望もあり、事業所内ではやりたいことができるようになった  
次は、自分の地域でその取り組みができるように考えていきたい。

・阪急の高架下でフェスタかたぎはらのような取り組みをやってみたいと思っている  
そのような機会があれば協力して欲しい→ぜひ協力させて頂きたい。

小規模多機能  
サービス評価

小規模多機能居宅介護「サービス評価」総括表の説明をしご意見をいただく

・かたピーなどを利用し、わかりやすい建物になるように工夫して欲しい→横断幕  
などで工夫したいと思っている

・小規模多機能という名前の理解が難しい。もっとあちこちで宣伝してほしい。  
→もし、お邪魔してよいなら次年度もサロンや研修会で話をさせてもらえる機会がほしい